

研究課題番号	3J173002
研究課題名	容器リサイクル樹脂を利用した WPC 用表面処理木粉の開発
研究実施期間	平成29年度～令和元年度
累計予算額	15,750 千円
研究機関名	トクラス株式会社
研究代表者名	大峠 慎二

1. 評価者の指摘及び提言概要

中間審査でのコメントを踏まえ、地域や木材の種類を変えた検討、紫外光の影響検討し、ユーザー企業との実装テストもできていること、実用性目標の達成、コスト試算などが評価できる。ウッドプラスチックの利用拡大ならびに容リプラの有効利を図るための技術開発で、プラスチックリサイクルにはそれなりの効果が見込まれ、かつ成果も挙がっている。研究の発想そのものがかなり実用的観点から考えられており、評価できる。ただ、もう少し基礎的部分の突っ込んだ検討も行い、より汎用性の高い技術に仕上げる努力があっても良かったのではないかと思われる。特に木粉の違いが製品性能にどう影響するのかは、この技術の拡大に大きな影響が予想される。木粉の種類による性能差を見い出せたことは将来の木粉再利用の大きな一助となろう。嵩比重と木粉種の関係のさらなる検討が求められる。

2. 評点

総合評点：A